

# 探究型学習を推進するために 平成30年度から探究科2学級を新たに設置

## 1 探究型学習と各学科のねらい

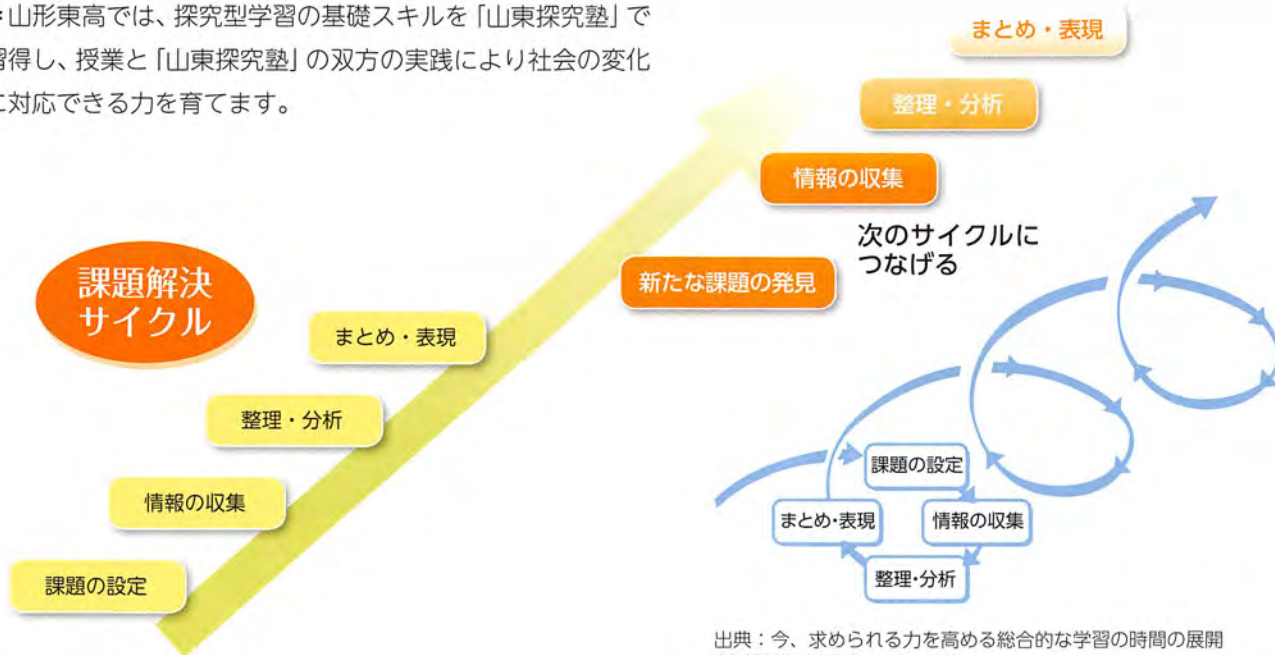
山形東高等学校では、探究型学習を推進するため、平成30年度から探究科を新たに2学級設置します。探究科では、1年次に共通科目を履修し、2年次からは理数探究科か国際探究科に分かれ、それぞれの学科において特色ある教育活動を展開し、より専門性を高めます。

普通科、探究科（理数探究科・国際探究科）ともに探究型学習を推進します。単位制の特長を生かした多様な授業科目と総合的な学習時間「山東探究塾」における教科の枠を越えた双方の実践を通じて、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を育てることを目指します。

### 探究型学習とは？

授業や身近な経験の中で自ら見つけた課題について、基礎的な知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、主体的・協働的に解決に取り組む学習です。

\*山形東高では、探究型学習の基礎スキルを「山東探究塾」で習得し、授業と「山東探究塾」の双方の実践により社会の変化に対応できる力を育てます。



出典：今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開  
(文部科学省 平成25年7月)

### 普通科のねらい

自らの考えを豊かなコミュニケーション能力を用いて表現するとともに、周囲と協働して課題の解決にあたることができる、知・徳・体のバランスのとれた総合的な人間力を養う。

1年次は、共通科目を履修し、2年次から理数探究科、国際探究科に分かれ、より専門性を高める。

### 探究科のねらい

#### <理数探究科>

普通科で学ぶ「数学」、「理科」の内容を発展・拡充させた専門教科「理数」の科目を中核として、自然科学分野の探究的な学習を深化させる。

#### <国際探究科>

普通科で学ぶ「英語」の内容を発展・拡充させた専門教科「英語」の科目を中核として、人文・社会科学分野の探究的な学習を深化させる。

## 2 平成30年度入学定員と教育課程

○入学定員は、普通科160名(4学級)、探究科80名(2学級)です。

○普通科では、1年次は普通科全員が共通の教育課程で学び、2年次から理系か文系を選択して学習します。

○探究科では、1年次は探究科全員が共通の教育課程で学び、2年次から理数探究科か国際探究科を選択して学習します。

### ◆普通科カリキュラム

「総合的な学習の時間」は、「山東探究塾」になります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語		公民		数学				理科			保健体育		芸術		英語			家庭		情報		総合学習	LHR									
2年文系	国語			地歴				数学			理科		保健体育		芸術		英語			総合学習	LHR												
2年理系	国語			地歴		数学			理科			保健体育		英語			総合学習	LHR															
3年文系	国語			地歴		地歴・公民選択		数学・芸術選択		理科		保健体育		英語			総合学習	LHR															
3年理系	国語			地歴		数学			理科			保健体育		英語			総合学習	LHR															

### ◆探究科カリキュラム

人文ゼミは「総合的な学習の時間」の「SG人文ゼミ」を表します。

普通科同様、探究科の「総合的な学習の時間」も「山東探究塾」になります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	国語		公民		理数(数学)				理数(理科)			保健体育		専門英語			家庭		情報		総合学習	LHR												
2年国際探究	探究(国語)	国語		地歴				数学			理科		保健体育		芸術		専門英語			人文ゼミ	総合学習	LHR												
2年理数探究	国語		地歴		理数(数学)			理数(理科)			保健体育		芸術		専門英語			課題研究	総合学習	LHR														
3年国際探究	探究(国語)	国語		地歴公・探究(地歴・公民)選択				数学		理科		保健体育		専門英語			総合学習	LHR																
3年理数探究	国語			地歴		理数(数学)		探究(数学)		理数(理科)		探究(理科)		保健体育		専門英語			総合学習	LHR														

学校設定教科「探究」には、国語・地歴公民・数学・理科があります。

「理数(数学)」は専門教科「理数」の数学、「理数(理科)」は、専門教科「理数」の「理数物理」、「理数化学」、「理数生物」を表します。

「専門英語」は、専門教科「英語」を表します。

課題研究は、専門教科「理数」の「課題研究」を表します。

## 《探究科のカリキュラムの特徴》

- 1年次から専門教科「理数」の理数物理・理数化学・理数生物の3科目を履修し、探究活動に必要とされる科学的知識技能を早期に身に付けます。
- 理数探究科では、探究活動を意識した理数科目における発展的内容の取扱いを積極的に行っていくほか、山東探究塾とリンクした「課題研究」により、より専門的な内容の探究活動を目指します。また、学校設定科目「Academic English」等により探究活動の成果を英語でまとめ、外部に発信していく力を磨きます。
- 国際探究科では、専門教科「英語」、教科「探究」の各科目と「SG人文ゼミ」により、「グローバルな視点」の獲得と英語の四技能を活かしたコミュニケーション能力の育成を目指します。  
※「グローバルな視点」とは、世界に目を向けたグローバルな視点と、地域に根ざしたローカルな視点を併せ持った視点です。
- 専門教科「理数」では、「理数数学」、「理数理科」を通じて、より発展的な思考力やより専門的な知識を必要とする課題に取り組み、論理的思考力・判断力や分析能力などを育成することを目指します。
- 専門教科「英語」では、「SGスピーキング」、「異文化理解」等の各科目を通し、英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、自分の考えを的確に英語で発信する能力を養い、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。
- 学校設定教科「探究」では、自然科学、人文・社会科学分野において自ら課題を設定し、各教科・科目の学習で身に付けた知識・技能を活用してその解決に努めます。より高度な思考力・判断力・表現力及び変化の激しいこれからの社会で生き抜く力の養成をめざします。

# 3 山東探究塾の概要



## 探究活動に必要なスキルとは？

探究活動では、課題発見スキル（発想法など）・情報収集スキル（データ収集、論文検索など）・情報分析スキル（統計処理など）などが必要とされます。また、情報を発信するためのプレゼンテーションスキルや自分の考えを的確に伝えるためのディベートスキルも必要とされます。

## 《これまでの取組み》

山東探究塾  
(希望者制)  
平成28年度  
活動実績

- ・日本学生科学賞山形県審査 最優秀賞・県知事賞・チノー賞・全国中央審査出品
- ・山形県サイエンスフォーラム 山形大学理学部長賞/優秀賞
- ・日本動物学会東北支部会 高校生の研究発表 優良賞
- ・大気環境学会 北海道・東北支部会 高校生の研究発表 優良賞
- ・東北地区 SGH 課題研究発表フォーラム in 杜の都 参加
- ・つくば ScienceEdge2017 参加
- ・サイエンスアゴラ2016 参加



授業体制の  
構築

- 探究型学習、アクティブ・ラーニング、教科の枠を越えた授業の研究推進
- ICTの授業への活用推進(教室の無線LAN化・電子黒板・タブレットの導入)
- 英語ディベート力育成事業

グローバル  
人材育成  
プロジェクト

- 外務省講座
- EUがやって来た
- アメリカ研修(ボストン)
- 英語ディベート大会参加
- スピーキングのパフォーマンステスト



# 探究科Q&A

**Q1** 普通科に加え探究科が設置されたことで、入学者選抜の志願方法はどのようになりますか。

**A** 下表の3通りの志願方法があります。「普通科」を第1志望とした場合、「探究科」を第2志望にすることはできません。

第1志望	第2志望
探究科	普通科
探究科	なし
普通科	なし

**Q2** 探究科の定員が少なく、合格できるか不安があるため、どちらを志願すべきか迷っています。

**A** 探究科の定員は少ないですが、Q1にもあるように普通科との併願が可能です。皆さんには、本校への入学を目指すにあたり、志願の際から高い目標を持って挑戦して欲しいと思います。ただし、探究科では、芸術Ⅱ・Ⅲは履修できませんので芸術分野へ進学を考えている人は注意してください。

**Q3** 探究科では、探究型学習に多くの時間が割かれることで、大学入試に不利になるのでしょうか。

**A** 知識・技能の評価に加え思考力・判断力・表現力を中心に評価する「大学入学共通テスト」(仮称)が、平成32年度の入試から導入されます。また、各大学の入試でも、調査書・志願理由書・面接などを積極的に活用し、主体的・協働的に学ぶ態度を評価するように見直されます。探究科は、発展的な探究型学習を通して思考力・判断力・表現力や主体的・協働的に学ぶ姿勢を育てるとともに、専門教科「理数」、「英語」の科目や学校独自の科目を設け、より高い学力を養成しますので、これからの大学入試に対応しています。

**Q4** 探究科に比べ普通科では大学入試で不利にはならないのでしょうか。

**A** 教育課程に違いはありますが、目指す進路は同じであり、大学入試制度改革に対応できるよう積極的に探究的な学びに取り組むことに変わりはありません。普通科でもこれまで以上に大学進学に向け力を入れていきますので、安心して受検してください。

**Q5** 理系か文系(普通科)、理数探究科か国際探究科(探究科)のどちらに進むかを入学時に選ぶ必要はありますか。

**A** 普通科の160名、探究科の80名をまとめて募集し、1年次はそれぞれの学科内で共通の教育課程で学ぶため、入学時にいずれかを選択する必要はありません。1年次の秋の段階でどちらに進むかを決定することになります。決定に際しては本人の希望を尊重しながら、担任の面談などを通して進路への興味や適性を十分に見極めたくうえで、納得のいく選択ができるように配慮していきます。

**Q6** 2年次から理数探究科と国際探究科に分かれた際、人数やクラス編制はどのようになるのでしょうか。

**A** どちらの学科も40名程度ずつになる場合もあるでしょうが、希望や適性によっては、二つの学科が同じ人数にはならないことが予想されます。それぞれの学科の生徒に分けてクラスを編制すると人数に不均衡が生じるような場合には、探究科全体で2クラスを編制し、クラス内に理数探究科と国際探究科の生徒が混在しているクラスとすることを想定しています。

**Q7** 普通科の選抜において、普通科を第1志望にしている場合と第2志望にしている場合では有利、不利がありますか。

**A** 普通科を第1志望としている受検者と第2志望としている受検者は同等に選抜しますので、有利、不利はありません。合格候補者を判定する際、第1志望と第2志望の受検者を同じ基準で選抜していきます。